



(2) 補助金見直しの基本視点に基づく評価

(※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること)

公 益 性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		広く社会に利益をもたらす	
公 益 性	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		ほとんど合っている	・浦安市民の死因の第一位はがんであり、近年増加傾向にある口腔がんに関する知識の普及や口腔がんの早期発見及び早期治療については、時代や社会情勢にあっている内容と考える。
必 要 性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。
		ある	・浦安市がん対策の推進に関する条例において、市としてがん対策を強化していること。併せて、第3期千葉県がん対策推進計画において、口腔がんの知識の普及啓発に努めることとされており、市が積極的に関与すべき内容であると考える。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がなければ事業を実施できない理由・具体的根拠を記入
		できる	・団体等の自主財源で事業を実施することは可能であると考え、口腔がんに関する知識の普及や口腔がんの早期発見及び早期治療は、市民の健康維持のために市が積極的に取り組む事業であり、補助金は必要であると考え。
	市民ニーズが高いものである。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		やや低い	口腔がんは他のがん比べ、一般の方の認知度が低く、検診に対する市民のニーズは高いとは言えないが、がんが進行した場合、生活に与える影響が大きく、早期発見、早期治療が肝要であり、市民の健康増進のため、必要な事業であると考え。
	市民ニーズに即している。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		やや即している	・市民の健康維持増進に努める事業であり、市民のニーズに即したものであると考える。
	補助金の意義について、的確に説明できる。	評価	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。
		できる	・市民が健康に生活するために、近年増加傾向にある口腔がん検診を実施し、口腔がんに関する知識の普及や口腔がんの早期発見及び早期治療に資することにより、市民の健康保持増進に努める。口腔がん検診は国が精度管理の指針を示していないことから、歯科・口腔分野において知識・技術・研究的ネットワークを持つ当該団体への補助金は適切だと考える。
補助期限（終期）を設定している。	評価	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。	
	未設定	・口腔がんに関する知識の普及の半ばであること、また、口腔がんの早期発見及び早期治療には終わりが無いことから、実績を踏まえて、検討をする。	
補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。	
	はい	・事業にかかる事業費、運営費、委員会費、年間諸経費について、事業者へ聞き取り確認している。	

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	浦安市がん対策の推進に関する条例第3条に規定に基づくものである。
施策との整合性	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		はい	・本事業は、浦安市がん対策の推進に関する条例に規定している、がん対策の強化を目的とした事業であり、本市の特性を生かした取り組みとなっている。
公平性	事業を実施できる団体が他にない。(複数存在する場合、当該補助金はその事業者だけに交付される合理的な理由がある。)	評価	「はい」を選んだ理由
		はい	浦安市歯科医師会で実施する口腔がん検診事業は、その質が担保されており、また、日々明らかになるエビデンスに基づいて、臨機応変に対応していくことが可能である。
			「いいえ」の場合、補助金はその事業者だけに交付される合理的理由を記入。
	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
	未設定	口腔がん検診は、市のがん対策事業として実施していることから、その全額について、補助している。	
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		口腔がんに関する知識の普及、口腔がんの早期発見、早期治療の促進に資する。	
	ある程度の効果をあげている	評価	評価理由
		はい	事業を開始した令和元年度の口腔がん検診は想定よりも多い858人の受診があり、市民の関心の高さが伺えた。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受診者数は571人となり、受診者数が減少しているが、毎年口腔がんの発見に至るなど、十分な効果をあげていると考えられる。
	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
	はい	口腔がん検診は、自治体が発行する対策型検診として、国の法律や指針では定められていないことから、市が主体となって実施するのではなく、歯科医師の裁量で検診を進められるよう、補助金としている。	
国や県、本市において同様の補助事業がない。(※国県要綱に対し、上乘せ・横出しする補助事業は除く)	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。	
	ない		
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていけない理由を記入。
		はい	詳細な事業計画書の提出を求め、不明点については聞き取りを行っている。
	補助対象外経費を補助対象としていない。(対象としている場合は、明確な根拠を持っている。)	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。(※費目とは、飲食費や慶弔費など)
	対象としていない		

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価	評価の理由
		はい	市内の医療において、欠かすことができない団体であり、活動実態は休日救急歯科診療所の運営などを行っており、活動実態はある。
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。
		いいえ	今後、団体と調整を行い、情報公開の手法について、検討する。
	団体内で、補助金の使途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。
		はい	業務報告書を作成し、医療法人内で内容を共有し、実施している。
補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。	
	事業補助		
市職員が補助金交付団体の事務を行っているか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。	
	行っていない		
繰越金	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越金を計上している。 (※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを別紙にて提出のこと)	評価	具体的な根拠指標
		いいえ	直近決算額における補助金額 _____ 円 繰越金額 _____ 円 { うち補助事業会計分 _____ 円 うち団体独自会計分 _____ 円
			繰越金額が生じた具体的な原因について記入。
上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。	評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。	

(3) 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

野田市：野田市歯科医師会に対し集団で実施している口腔がん検診に補助金を交付している。  
 柏市：柏市歯科医師会に地域の市民への啓発活動費として補助金を交付している。

(4) 補助金の課題

口腔がん検診の必要性を周知し、受診者数増加に努めることに加え、検診精度をより良くするため、浦安市歯科医師会と連携し、精度管理の充実を図っていく。

(5) 所属長の総合評価

口腔がん検診は、自治体を実施する対策型検診として、国の法律や指針では定められていないことから、市が主体となって実施するのではなく、歯科医師の裁量で検診を進められるよう、補助金としていることから、引き続き、補助金を交付していきたいと考える。

(6) 補助金の今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続
<input type="checkbox"/> 見直しをしたうえで継続
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> その他

その他の内容

現行継続の理由	一定の成果が上がっており、今後も口腔がん検診の必要性を周知し、受診者数の増加に努めていきたい。
---------	---

見直しの時期	
見直しの内容	

廃止の時期	
廃止の理由	